

# 令和2年度 学級・授業づくりセミナー

## 学校教育課通信

令和2年8月27日(木) 第160号  
編集・発行：県南教育事務所 板橋 竜男

8月3日(月)に、白河合同庁舎にて、「令和2年度 学級・授業づくりセミナー」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会場を例年の東京第一ホテルから変更するなど、例年とは異なる形での開催となりました。そのような中、6名の講師の先生方をお招きし、学級経営や教科指導法等について発表をいただいた今年度のセミナーには、県南域内から90名近い先生方に参加をいただきました。夏季休業の短縮等により、大変お忙しい中で本セミナーのために準備をしてくださり発表をいただきました講師の皆様、そしてたくさんお集まりいただいた研修者の皆様に改めて御礼を申し上げます。

主体的な研修にするために、6つのブースの中から自分が参加したいブースを3つ選択し、講師の発表を聞き、意見を交流するという形で研修を進めました。1ブースの研修時間は30分間と決して十分ではありませんでしたが、講師の示唆に富んだ発表や研修者の積極的な質問等により、実りある研修になったと感じています。

研修後の感想用紙には、すぐに実践することのできる具体的な発表が大変役に立ったこと、振り返りを通して新たな学びや気づきがあったこと、2学期からの実践意欲が高まったことなどが、一人一人の研修成果としてまとめられていました。一方、会場や運営方法については貴重なご意見をいただきましたので、次年度の開催に生かしていきたいと思えます。

意欲をもって研修に取り組む先生方の姿が、県南の教育を支える大きな力であることを改めて感じることができた研修会でした。本当にありがとうございました。

## お世話になりました講師の先生方 (五十音順)

白河市立表郷中学校	大竹 聡美 先生	白河市立白河第二中学校	鈴木 淳子 先生
白河市立みさか小学校	大竹 美和 先生	矢吹町立矢吹中学校	高橋 史歩 先生
棚倉町立棚倉小学校	相良 幸子 先生	白河市立表郷中学校	根本 洋子 先生



大竹聡美先生 (特別支援教育)



大竹美和先生 (国語)



相良幸子先生 (道徳)



鈴木淳子先生 (外国語)



高橋史歩先生 (学級経営)



根本洋子先生 (算数・数学)

どの授業においても、何よりもまずは学級経営なのだを改めて感じました。自分の考えを伝えられる雰囲気づくりや環境づくりをもう一度考え直したいと思います。

情報交換の際には、同じブースでも注目したポイントが異なっているなど、新たな学びに目を向けるきっかけになりました。

児童が授業で学んでいくための発問、コーディネートなどの教師の技術を高めるのはもちろんですが、学級経営が基礎になり、子ども同士の信頼関係が良くなった上での授業があるのだと思いました。

先生方がたくさん学び感じている真剣な様子がとてもよかったです。「学級づくり」「授業づくり」の難しさと楽しさ、奥深さを改めて感じました。

授業への不安もありましたが、どんどん新たなことに挑戦して自分も楽しく生徒も楽しく学べるような授業づくりに努めていきたいと思いました。

どの実践も今後の自分に生かせるものだと思います。何かを毎日続けることの大切さ、一人一人を認めることの大切さを感じました。

特別支援の視覚支援、どの子にも分かる支援の視点が道徳にも教科指導にもつながっているのだを改めて感じました。「見通しを持たせる」「どの子にも分かる支援」を2学期のキーワードにしていこうと思いました。

教師として学び続けることが大事なのだを改めて気付く機会となりました。講師の先生方が今まで勉強してきたことや経験してきたことを、惜しみなく教えてくださったのがうれしかったです。

子どもたちに見通しを持たせて、安心感のある授業や活動が大切であることがよく分かりました。

講師の先生方に共通していたのは、目の前の子どもたちをこう成長させたいという思いと、簡単ですぐに取り入れられる工夫やアイデアを実践している点です。

## 研修者の感想から

どの先生方も悩みはあると思うので、こうしてお話できる環境づくり、職場づくりができるとうれしいと思います。

子どもの頑張りをほめて、学級全体で認めてあげる、教師のやりやすさや分かりやすさを子どもにおしつけてはいけないことを学びました。子どもたちがしたくなる、意欲的に学習できる環境をつくりたいと思いました。

講師の先生から普段悩んでいることのヒントをたくさんいただけて本当にありがたかったです。情報交換することで同じ悩みをもっていたり、新たな気付きもあったりと、とても役立つ研修でした。

講師の先生方の実践が聞けるので、それがとても役に立つと思っています。年に1回のこのセミナーは貴重です。

全ての先生方がいろいろな手法で生徒の「やる気」「興味」を引き出すことに力を入れていると感じました。

実践してみたい、実践できるかと思える身近な内容であったことがとても良かったです。まず、学級の間関係づくりに力を入れていきたいと思いました。

先生方の話を聞いて、授業においても学級経営においても生徒を見取る力が大切だと強く感じました。生徒の行動一つ一つをよく観察し、その都度ほめる、認めるということが学級全体や個人の高まりにつながると感じました。

日々実践されている先生方の具体的な話が聞け、とても貴重でした。自分に足りないところが分かりました。

様々な先生の話聞き、改めて、2学期も教材研究、指導の充実に向けて頑張っていきたいと思いました。

どの先生方も学級づくりを第一に考えていらっしゃいました。授業を通して学級をつくる、それが楽しくて分かる授業や生き生きとした活動につながっているのだを改めて感じました。

どの先生方も独自のやり方をされていてとても参考になり、真似したいものばかりでした。「自分らしさ」を交えつつ（交えるならどこなのかを考えながら）、実践したいです。